

## はじめに

地球研平成 22 年度フルリサーチ (FR4) 研究「社会・生態システムの脆弱性とレジリアンス」は本プロジェクトとしての 4 年目を無事終了した。本プロジェクトは地球研の 5 つの領域プログラム (循環、多様性、資源、文明環境史、地球地域学) の中で「地球地域学プログラム」に所属している。今年からは、地球研の第 2 期中期計画として未来設計イニシアティブがスタートし、プログラムからイニシアティブへの橋渡しが期待されている。

2010 年度はプロジェクトの調査を開始してから 3 度目の雨期の調査を終了した。過去 3 年間の降水量は平均以上であった。圃場試験の結果からは、雨量の変動によるショックは畑の位置を分散させることによってある程度回避できることが明らかになった。加えて、長期的な世帯調査から、2007 年 12 月の大雨が世帯の食料消費の変動に与えた影響を明らかにしつつある。また、4 度目の雨期である 2010/2011 年農作期も始まったが、今回も平均降水量を上回ることが予測されている。

今年度はプロジェクト成果の国際的な発信にも力を入れた。10 月には GLP Open Meeting 2010 へプロジェクトから 4 名が発表、11 月には 2004 年インド洋津波の被害が最も大きかったインドネシアのアチェで開催された AIWEST-DR 2010 において 2 名が発表した。大会のメインテーマはコミュニティのレジリアンスを醸成することであった。さらに 3 月には Resilience2011 および EnvironmentAsia への参加も予定されている。国内では 12 月に国際開発学会において企画セッションを開催し、プロジェクト外でのレジリアンスの議論を共有することができた。

プロジェクトメンバーの方々にはプロジェクトの順調な発展のためにご尽力をいただき感謝したい。また地球研のプロジェクト評価委員会 (PEC)、所長、プログラム主幹、管理部および研究部スタッフの方々にこの様な統合プロジェクトを実施するためにご支援いただいたことに感謝申しあげる。プロジェクト終了までの間にレジリアンス研究をさらに発展させる基盤をつくるように尽力したいと考える。

平成 23 年 1 月

総合地球環境学研究所

E-04(FR4) プロジェクト・リーダー

梅津 千恵子